

●巻頭文・・・・・・・・・・・・・・・・	1
「さとり」	
●特集・・・・・・・・・・・・・・・・	2
【2024年 白州いずみの家は】	
●ダイアリー&トピックス・・・・・・・・	4
●この人に聞きたい・・・・・・・・	6
研修報告／第三者評価結果	
●隣県スポットへGO!!・・・・・・・・	7
白うさぎレシピ	
●ありがとうございます・・・・・・・・	8
普通の日／苦情対応窓口実施状況／編集後記	



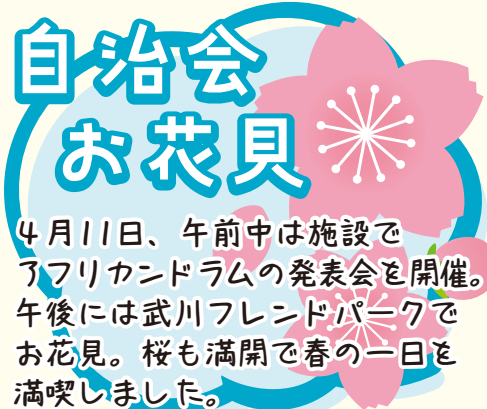
2024年6月15日発行

社会福祉法人 しあわせ会 白州いずみの家
〒408-0315 山梨県北杜市白州町白須8438
TEL0551-35-3324 FAX0551-35-3328

発行責任者／施設長 有賀 弘

URL <http://www.eps4.comlink.ne.jp/~izumi-ie/>

E-MAIL izumi-ie@eps4.comlink.ne.jp



4月11日、午前中は施設で
うフリカンドラムの発表会を開催。
午後には武川フレンドパークで
お花見。桜も満開で春の一日を
満喫しました。



「さとり」

社会福祉法人しあわせ会 理事長 岡田万朝

だいたい前のことなので題名は忘れてしまったが、禅について書かれた本の中で悟りを得た時のことについて言及した部分があった。庭を前にして禅定に入ったが、今まで目の前に見えていた木や花や岩が、突然自分の内側に見えてきたと言う。全てのものが自分の中に存在している、梵我一如、宇宙と自分が一体となった感覚が悟りなのか。

達磨大師は面壁九年、嵩山少林寺にて壁に向かって9年間座禅を続けて悟りを得たというが、仏教の禅もヨーガの瞑想も気持ちがいいから長く続けることができるようになるそうである。即ち、悦に入ると言うことのようなのだ。無我夢中で何時間もゲームに没頭することも、似たような体験をしているかもしれない。

人間は肉体をまとして生きている以上、個としての自己を消し去ることは難しい。自他の隔たりは無くならず、いくら頑張っても欲一厘が残る。

さとりは差取りとも言える。宇宙と自分との差を取り払う、性差、貧富の差、上下の差、あらゆる差を取り除く。段差をなくせば平らになる。平和とは平らにして和することなり。

20
24

2024年 白州いずみの家は

GOALS AND POLICIES 2024

全体目標・方針

文責：田邊謙一

利用者の権利を守り、自己実現できる施設づくりをする中で、権利擁護、虐待防止、身体拘束の適正化は必須条件です。その為に、外部講師の招聘はじめ、ミニ研修、グレーゾーンの検証、接遇マナーの向上に力を入れていきます。ここ数年は高齢化に合わせた取り組みとして介護やケアについて学ぶ機会を多く設けてきました。しかし、利用者の高齢化によって表面化された課題は介護やケア技術の習得だけではなく、高齢化によるマンツーマン対応が増えていくことでのマンパワー不足、それに伴った業務負担の増加が大きな課題となっています。今年度は、業務削減に対してより積極的に取り組み、支援・業務負担の適正化を目指していきます。その中でも施設行事、活動については、高齢化が進む中で、一律に行うことが困難になってきているため、利用者個々の状態に合わせて、慎重に行っていく必要があります。人材育成については、昨今の人材不足や採用の困難さを鑑みると、法人の最重要課題として位置づけられます。従来予定されている研修を確実に行うだけでなく、職員間のコミュニケーショ

ンを大切にし、どの立場の職員でもオープンに話し合える関係性をつくっていきます。利用者の笑顔はもちろんですが、職員の余裕から生まれる適切な支援、そしてなにより働く職員の笑顔を守り、高齢化に向かっている施設の中で新たなやりがいを見つけていきます。また、昨年度より特定技能実習生が入職する中で、外国人職員の研修制度も充実させていく必要があります。採用活動についても、職安、福祉人材センター、大学等直接訪問する中で、顔の見える関係をつくり、採用に繋げていきたいと思ひます。また、高校生の新卒者の採用も検討していきます。新規事業については昨年度理事会にて児童発達支援事業を検討している旨を報告しています。設立に伴った人材面、金銭面など、白州いずみの家にとって良いタイミングで設立ができるように法人全体で取り組んでいきます。報酬改定、その他福祉を取り巻く制度が変わっていく中で、従前のやり方だけでは施設経営は難しくなっています。最新の情報を取り入れ、時代に合った施設運営を考えていきます。

① 現状把握に基づいた利用者支援とサービス向上への取り組み

② 利用者の現状と勤務体制に合わせた日課の見直し

③ 高齢化に対応した生活の保障

④ 職員採用及び人材育成制度の再構築

⑤ 総合的かつ有効的なリスクマネジメントの実施

⑥ 地域との連携の強化

⑦ 関連法令、地域等の情報収集と対応

ケース会 年間目標

文責：田邊謙一
小林真理

① 利用者のしあわせ、変化を考えた支援の展開

② 利用者を深く理解するため視る目を養う

③ 人材育成及び支援に対する達成感の向上

④ 人権擁護委員会との協働

生活グループ 年間目標

文責：紅谷貴一

① 日常生活の楽しみになるような活動の計画・実施

② 日課の中での業務の整理

③ 衣・食・住に関する支援の管理

日中活動グループ 年間目標

文責：平井成一

- ① 一人ひとりのニーズに応じた活動内容の提供
- ② マンパワーに応じた余裕を持った活動の実施
- ③ 全体のバランスを考慮した活動の提供
- ④ 活動提供に関する他セクションとの検討・調整

看護部 年間目標

文責：片桐ひろみ

- ① 疾病の早期発見、早期治療
- ② 健康維持・増進、高齢化に対応するケアの向上
- ③ 利用者のための介護予防
- ④ 感染症および安全対策の向上
- ⑤ 衛生的な環境の整備

調理部 年間目標

文責：竹本奈緒

- ① 利用者の状況、嗜好に合った食事の提供
- ② 美味しく温かみのある(家庭的な)食事の提供
- ③ 衛生管理の研修、検討、徹底
- ④ 高齢化に伴う食事の試作・提供

地域交流担当 年間目標

文責：古屋竜人

- ① 地域で顔の見える関係の構築
- ② 丁寧な実習指導

人権擁護委員会 年間目標

文責：立花太一

- ① グレーゾーンの見直し、より良い支援への転換
- ② 身体拘束ゼロに向けた取り組み
- ③ 職員同士が相互点検、褒め合える風土の推進

安全管理委員会 年間目標

文責：清野浩二

- ① 効果的かつ実現性のある安全管理
- ② 職員への安全教育及び
保護者への安全管理に関わる情報の周知
- ③ 継続的な防災対策の実施及びBCPに基づいた
防災訓練の実施とPDCAサイクルに基づいた見直し
- ④ 他部署と連携したリスクマネジメントの継続

プロジェクトP 年間目標

文責：田邊謙一

- ① 事業概要の策定
- ② 設立、運営に掛かる費用の見直し
- ③ 人材確保に向けての取り組み
- ④ 法人全体での情報共有

自治会(利用者) 年間目標

- ① みんなで たのしく なかよくする じちかい
- ② みんなで きょうりよくする じちかい
- ③ みんなで やさしく たすけあう じちかい

自治会(職員) 年間目標

文責：西岡恭平

- ① 利用者による利用者のための自治会を目指す
- ② 日々の生活の中で、自治会役員として
自覚や責任感を持てるようにする
- ③ 自治会役員・自治会員が
楽しさを感じられるようにする

相談支援 年間目標

文責：宮沢健一

- ① 前年度に類似した収入の確保
- ② 地域の相談支援体制の強化
- ③ 地域資源を活用した自己研鑽の場



November

22 17 11 3
日 日 日 日
自治会
総合健診(予防接種)
障害者芸術文化祭
4日 白州文化祭



2023
1103

白州町文化祭

今日と明日、白州総合会館にて白州町文化祭が開催されています。いずみの家では、利用者の方の絵や織り、木工作品などを出展しました。職員も写真や書、絵などを出し、色を添えています。本日は利用者3名で、展示作品と舞台を感動しながら観賞してきました…。



2023
1111

ゆいぶんさい

今日は甲府駅北口よっちゃばれ広場で開催の芸術文化祭に参加してきました。いずみの家からはアプリカンドラムを発表しました。事前に打ち合わせして、富士山のセッションにも参加させていただきました。久しぶりの参加で、緊張した様子も見られましたが、秋の1日を楽しんできました。



2023
1130

おしゃれ

初の試み！
ネイリスト三井さんによるネイルの施術です。
おしゃれは気持ちを明るくしたり、気持ちの支えにも。
普段の日常に笑顔が増えますように！



December

29 18 14
日 日 日
冬休み・自治会大掃除
施設内診察
クリスマス会



2023
1208

権利擁護研修

今日は東京都福祉人材センターの人権啓発研修講師の先生をお招きして、「障害者虐待の未然防止の心得」というテーマで職員研修を実施いたしました。
障害者権利条約等のことから、事例検討、虐待防止策、職場の人間関係の豊かさについてまで、短い時間でした…。



2023
1214

久々のクリスマス会

新型コロナウイルスの波を何とか超え、外でのクリスマス会を行うことができました。久々のクリスマス会は以前と同じというわけではいなくなってしまう、準備にも苦労しました。それでも利用者の方のとても良い表情が見え、とても良い行事になりました。皆さんお疲れ様でした。



2023
1216

お別れ会

今日はM職員の最後の勤務の日でした。昨年の12月に特定技能実習生として入職し、約1年間いずみの家で働きました。とても明るく、誰にでも優しく、きびきびといつも動いていて、皆からとても愛されていました！今回家族の事情もあり、急なお別れでとても残念ですが、いずみの家のことを忘れることなく、次の舞台でも活躍してくれることを願っています。また日本に遊びに来てくださいねー！



January

17 11 1
日 日 日
オンブズパーソン
自治会新年会
書初め



2024
0111

新年会

今日は自治会の新年会でした。午前は福笑い、昼食は豪華弁当、午後は「新春コロコロボール大会」。楽しい年明けとなりました



2024
0119

音楽療法

タンバリンを上手にたたいています。皆さん、上手に歌をうたっています。



2024
0130

長坂の牛池

先日の日中活動のこと。外の仕事メンバーで長坂の牛池に散歩に行きました。全面？氷結しており、気温は低かったですが日差しは暖か。ほどよい距離の散歩コースで皆さんもゆったり歩けました。また行きましょうね！



2

February

22日 自治会ボランティア感謝祭
11日 織りのなかま展
10日 織りのなかま展



2024 0220 屋内散歩とお昼ご飯

午前中の活動を屋内で行う皆さんは、施設建物内をお散歩します。ぐるっと一周回れるように、女性棟と男性棟を隔てている扉を開放します。皆さん、5周くらいを頑張って歩いています。仕事の後はお昼ごはん。今日はシーフードスパゲティにサラダ、デザートはイチゴです！通常食とペースト食です。皆さんとても美味しそうに召し上がっていました！



2024 0223 白熱のレク大会

今日は自治会でレク大会を行いました。白熱の玉入れをご覧ください。玉を全部入れたら勝ちというルールで、赤チームが全勝しました。後で知ったんですが、青の玉が10個多かったのは内緒です。



2024 0229 午前中のお仕事

今日は屋外グループの方はリサイクル活動。ペットボトルや空き缶を洗浄し分別してゴミ袋に振り分けました！皆さん、お疲れ様です。



3

March

21日 自治会



2024 0318 春は節目の季節ですね

23年間熱い心で、施設「白州いずみの家」を支え、利用者さんの力となってきたH職員が、3月末で退職となります。長い間ありがとうございました。



2024 0321 自治会の午後

実習中の学生が皆さんに日頃の学習を披露してもらいました。皆さん非常に楽しんでいました。



2024 0326 24時間テレビ

24時間テレビ様から福祉車両が寄贈されました。有り難く、使わせて頂きます！ありがとうございます。本日の仕事は悪天候の為、中止。職員手作りのゲームで身体を動かしました。



4

April

19日 避難誘導訓練(火災)
11日 お花見



2024 0404 2024年度スタート

利用者への『説明会』でした。2024年度は「たのしくあんしんあんぜん」を大切に、利用者さんと心をつなぐスタートです！



2024 0411 花よりリズム、リズムより…

本日はお花見企画。アフリカンドラムの発表から始まり…午後は…武川フレンドパークに出掛けてきました♪満開の桜に迎えられ、気持ちの良い雰囲気を楽しみました。



2024 0426 おんがく

今日は音楽活動の日。春になり、陽気も穏やか。自然と身体も動き出します！ピアノの演奏に合わせて、カラフルなハンカチを振りまわす。講師から「頭にかぶるといつもと違った景色が見えますよ」と言われ、頭に被ってご満悦！後半のアフリカンドラムもいつもにも増して盛り上がっていました。





第32弾

理学療法士 窪田 裕士
「安静の功罪」

この人に
聞きたい

原稿の依頼を受けましたので、今までの経験を踏まえてちょっとしたお話をさせていただきたいと思います。

病院勤務時代、脳卒中や心筋梗塞などの患者のリハビリテーションを主に行っており、様々な病期の患者・利用者に対してのリハビリを経験してきました。リハビリは疾患・外傷が落ち着いてから行うというイメージを持たれている方もいるかもしれませんが、もちろん、病態や全身状態によりますが、基本的には発症した翌日、早ければその日の午後からリハビリが開始されるのが一般的でした。なぜそのように早期からリハビリを開始するかというと、健常者が3週間安静にすると、30年歳をとることよりも体力（最大酸素摂取量）が低下すると言われています。短い期間の安静臥床であっても筋骨格系、循環器系、呼吸

器系など全身に影響を及ぼします。つまり、安静による全身的な身体機能の低下（廃用症候群）を防ぐためなのです。安静臥床にはそれだけデメリットもあるのです。

近年では、フレイル・ロコモ予防などの話題も着目されるようになってきました。国でも高齢者の不活動による身体機能の低下を予防し、いかに運動を行っていくかという取り組みもなされてきています。皆さんもぜひ、散歩や手軽な運動からでも良いので取り入れてみてください。いずみの家においても、利用者の高齢化が進む中で、健康の維持・増進また介護予防のために理学療法士として寄与できる部分は沢山あると実感しています。今まで蓄えてきた知識や技術を利用者のみなさんに提供できればと思います。

研修報告

※2023年10月～2024年5月



- 2023年10月22日・29日【防災士講習】有賀
- 2023年10月23日【災害派遣研修】有賀
- 2023年10月25日【労務管理研修】立花
- 2023年10月25日（オンデマンド）
【福祉職のためのメンタルヘルス講習会】紅谷
- 2023年10月26日
【E-ラーニング研修】古屋、依田
- 2023年11月6日【かざぐるま児童研修】小林
- 2023年11月12日・19日【防災士講習】有賀
- 2023年11月17日【E-ラーニング研修】
清野、マーク、後藤、平林
- 2023年11月24日
【こどもまんなか社会と医療・保育】小林
- 2023年12月19日・20日
【中堅職員重点研修】遠藤、後藤
- 2024年1月15日【経営管理研修】立花
- 2024年1月17日
【山梨県障害者虐待防止・権利擁護基礎研修】マヨミス
- 2024年1月30日・31日
【強度行動障害基礎研修】メラニ



【第三者評価結果】

2023年度の第三者評価結果は、白州いずみの家のホームページに掲載しておりますのでご確認ください。

<http://www.eps4.comlink.ne.jp/~izumi-ie/>

隣県
スポットへ
GO!!



分杭峠 ぶんくいとおげ

長野県伊那市の「分杭峠」は、「富士山」や能登半島の先端「聖域の岬」とともに、日本三大パワースポットとして知られています。

日本最大の断層である中央構造線の真上にあり、伊那市長谷と下伊那郡大鹿村の境に位置し、遠州秋葉神社へ至る秋葉街道の峠の一つでした。海拔は1,424mで、従えば高遠領と刻まれた石柱が建てられ郡境になっています。

蓮花山のゼロ地場（気場）地帯は「人が幸せになれる場所」とも言われており、緑に囲まれた中で森林浴や遊歩道の散策を楽しむことができる癒しのスポットとして人気です。写真のように、自然のパワーをもらおうと森の中で長時間じっと座っている人も多そうです。※「ゼロ地場」とは…地層のN極とS極の磁気がぶつかり合うことにより磁力がゼロになった地点のことで大きなエネルギーが発生すると言われています。（この場所では方位磁石もくるくる回って定まらないとか…）

｜アクセス｜

東京方面から中央道伊那IC降りて約30分、「南アルプス長谷戸台パーク（仙流荘）」へ。そこから有料シャトルバス（大人往復料金2,000円／片道約30分）が運行しています。㊤冬季（12月～3月）は、積雪などの為、分杭峠の通行はできず、シャトルバスも運休します。
南アルプス林道バス TEL：0265-98-2821



白うさぎレシビ 「白身魚のピザ風焼き」



【材 料】（1人分）

白身魚（タラなどなんでも）・・・1切れ
塩・・・・・・・・・・・・・1g
こしょう・・・・・・・・・・・・・少々
ピーマン・・・・・・・・・・・・・6g
ベーコン・・・・・・・・・・・・・7g
ピザソース・・・・・・・・・・・・・24g
ピザ用チーズ・・・・・・・・・・・・・24g

【作り方】

- ① ピーマンは千切り、ベーコンは短冊切りに切っておく。
- ② 魚を鉄板にならべる。
- ③ ならべた魚にピザソースをかける。
- ④ ピザソースをかけた魚の上にピーマンとベーコンを乗せてさらにその上にピザ用チーズをのせる。
- ⑤ 180℃のオーブンで約15分～20分こんがり焼く。

利用者様から「魚？肉？」と質問されて「お肉です」と答えると笑顔で嬉しそうなお様子が見られるのですが「魚です」と答えた時にはがっかりしてしまう利用者様が多いです。魚料理もおいしいと思っていただきたくて、利用者様の好きなピザ風にして焼いてみたところ好評でした。そんな1品です。

あたたかいご支援を
ありがとうございます

施設や法人に
ご支援をいただいた方の
お名前をご紹介します。
(順不同・敬称略)

法人に寄付を頂いた方のお名前 (2023年10月1日～2024年4月30日)

臼田紘一、坂本葉子、八代淑子、長島正明、芝崎勇二、里見達也、竹澤猛彦
杉山敏雄、山田俊男、田中信子、窪田 敏、尾山 實、馬渡一浩、井上雅美
石原 仁、外山朋子、坂本信子、浅川 季、山梨日化サービス株式会社
有限会社エムケイコーポレーション、一般社団法人昭和会館

施設に寄付を頂いた方のお名前 (2023年10月1日～2024年4月30日)

鈴木紘一、芦田順子、坂本信子、長嶋正明、志村公久、井上誠次、臼田紘一
徳田睦子、細井 好、峰岸秀征、池田佐和子、小林和隆
田中信子、浅川 季、前田利彦、吉田 尚、園部心一
聖ヨハネ、阿部富雄、山本倭子、山本美佐子



普通の日 施設長 有賀 弘

空前の人手不足の中、現在いずみの家では4名の外国籍の方に働いてもらっています。初めて外国籍の方を迎える際には、言葉や習慣など、心配することとはりましたが、入職してみると、その不安をはるかに上回る働きぶりに驚いています。

一方で心配もあります。現在の特定技能実習生(介護)では、5年間の在留期間中に介護福祉士の資格を取れないと、帰国せねばなりません。3年間の実務経験を経て、たった2回の試験で日本語でしか受けられない試験をパスするのは、かなりハードルが高いと思います。事業者は長く働いてもらいたい、外国籍の方は永住も視野に長く働きたい、両者がそう考えている所に制度の障壁があります。制度の改善も議論されているようですが、早く整えて欲しいと思います。

人口は国力に直結します。移民受け入れや二重国籍の可否については様々な議論がありますが、高齢化と人口減少が著しい日本において、人の確保や定着は喫緊の課題だと考えています。

苦情対応窓口 実施状況

2023年10月から
24年4月末までの相談件数

対利用者・・・0件

対職員・・・0件

その他・・・1件

編集後記 editor room

桜の季節が終わり、心落ち着く新緑の緑に包まれている白州です。これから梅雨…。嫌な季節ですが作物を育てることや、水不足解消などなくてはならない季節なのでしょうね。明けると大好きな夏がやってきます。巡りゆく四季は良いですね。(tatsu)